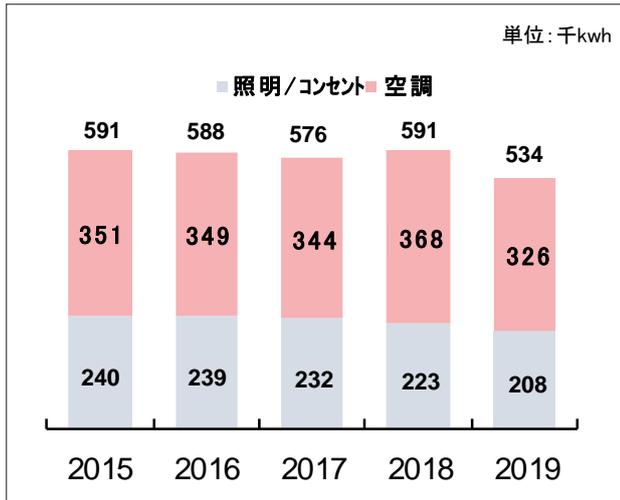


環境負荷データの経年推移

【電力使用量】

低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to Share」に参加し、夏季、冬季の冷暖房温度の適正化、不要な電気のスイッチオフ、パソコンの省エネモードの設定等の省エネ活動に取り組んでいます。

■ 電力使用量推移(本社)

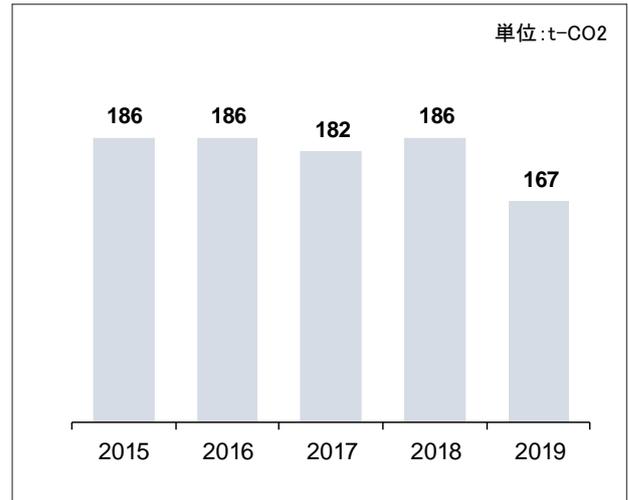


空調エネルギーは共用部を含む推計値

【CO2排出量(エネルギー起源)】

現代社会における重要課題の一つである、CO2等温室効果ガスの削減のため、オフィスにおけるエネルギー消費量の低減や、効率化に向けた取組みを推進しています。

■ CO2排出量推移(本社)

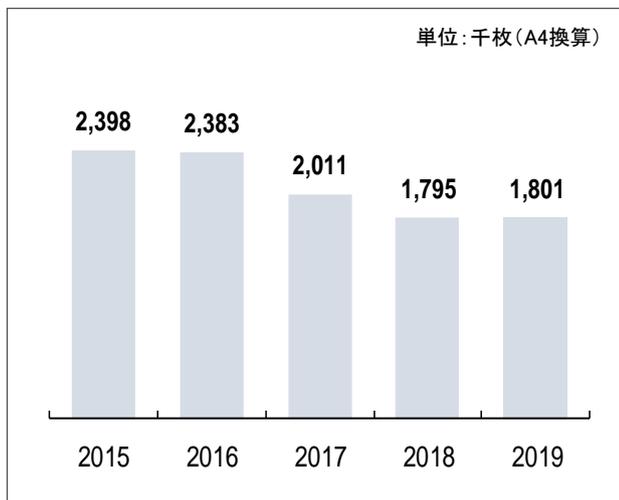


空調はCO2発生量を抑えた地域冷暖房システムを利用

【用紙購入量】

森林資源保護やCO2排出量削減等、環境負荷を低減するために、資料の電子化やプロジェクタを利用した会議の推進等のペーパーレス活動に取り組んでいます。

■ 用紙購入量推移(本社)

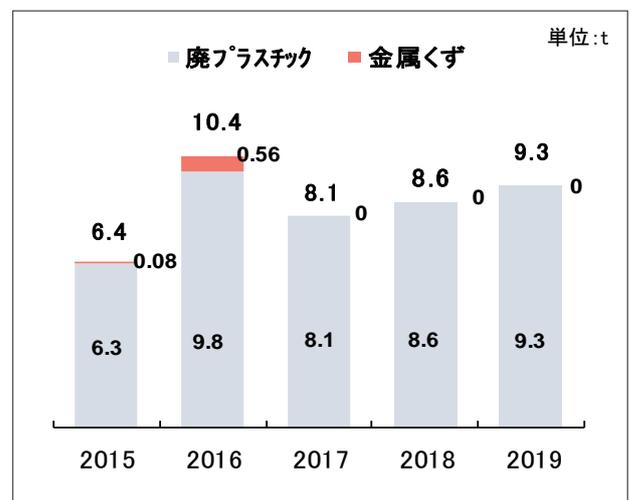


【産業廃棄物排出量】

資源循環型社会の実現に向けて3R(注1)を推進するという基本方針のもと、より高度な3Rをめざして、社員一人ひとりが廃棄物の削減に向けた取組みを実践しています。

注1: Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再資源化)

■ 産業廃棄物排出量推移(本社)



2015～2019年度のリサイクル率は100%

環境負荷データの経年推移

【機密文書排出量】

事業所における機密文書のゼロエミッションによる環境負荷の低減と、セキュリティリスクの低減に向け、機密文書リサイクルシステムを活用しています。

■機密文書排出量推移(本社)



【エコカー導入台数】

燃費の向上によるCO2排出量削減のために、営業車のエコカー導入を推進しています。2010年度からはハイブリット車に加え、低燃費の小型車も導入を開始しました。また、エコドライブ推進規程を設け、定期的に社内研修・テストを実施することにより、エコドライブを推進しています。

■エコカー導入台数推移(全社)

